

ブックオフコーポレーション株式会社

2010年3月期 第1四半期決算概況

2009年8月12日

ブックオフコーポレーション株式会社

(東証一部:3313)

【連結】2010年3月期 第1四半期累計期間連結業績の概況

- ・ 第1四半期連結累計期間損益はブックオフ事業、リユース事業共に好調により計画を大きく上回る
- ・ 営業利益：計画比+230.6%、経常利益：同+219.9%
 - ブックオフ事業、既存店好調に加え新店も計画を上回る
 - 主要連結子会社も経常利益計画を上回り、連結業績に寄与
 - リユース事業子会社 経常利益額計画比 +77百万円
 - オンライン事業子会社 経常利益額計画比 +1.5百万円

【単体】2010年3月期 第1四半期累計期間単体業績の概況

- ・ ブックオフ単体好調 単体の第1四半期累計期間損益は計画を上回って推移
- ・ 営業利益：計画比+140.9%、経常利益：同+134.6%
 - 既存店客数前年越え継続中（12ヶ月継続中）
 - 第1四半期累計期間（4～6月）売上高前年比 既存店+6.4%。全店+10.7%

業績前年同期比・計画比の表を最後に記載しております。

既存店・新店共に計画に対し上ぶれ (経常利益計画比+219.9%)

主力であるブックオフ事業が、利益計画を大幅に上回り、単体業績の経常利益計画比+134.6%となりました。

既存店客数は11ヶ月連続（2009年7月まで12ヶ月連続更新中）で前年比を上回り、今期も継続して好調です。ゲーム等による1点あたりの販売単価の引き上げに加え、仕入の好調を背景として売上客数が継続して増加していることが大きな要因です。

当第1四半期には今期の出店計画の柱の一つであった大型複合店「中古劇場」2館への出店を含め、連結対象店舗は17店舗出店しました（内中古劇場内9店舗）。昨年と同様に出店を第1四半期に集中させているため、出店コスト等を含め、連結経常利益計画は213百万円と見込んでおりました。しかしながら主力のブックオフ事業の売上の好調と、昨今の市況を追い風に、パート・アルバイトの採用コストや出店コストの低減など、販売管理費を計画より大きく削減したことにより、経常利益は計画を219.9%上回りました。

また、中古劇場における顧客の利便性向上の追及と共に生産性の向上を図るために、従来は各売場に点在していた、各業態の販売・買取カウンターの統一の実験を開始しました。

実験の結果、販売・買取・生産性共に効果がでており、今後、中古劇場（SUPER BAZAAR）へ導入することを検討しながら、更に効率を上げる施策を推進してまいります。

今期出店した店舗の個別の概要については、ブックオフ店舗は4月に10店舗出店した4店すべてが2ヶ月目に単月黒字化を達成するなど、順調な立ち上がりです。また複合館「中古劇場」は、4月に10店舗出店した54号広島八木館が2ヶ月目に館としての単月黒字化を達成し、中古劇場としては最短での単月黒字化達成となりました。現在も繁忙期である第3四半期に向けて順調に売上を伸ばしております。

第1四半期までの出退店に関しては下表をご参照下さい。

各セグメント別実績

【ブックオフ事業】

- 当第1四半期累計期間に6店舗出店しました。
- 当第1四半期累計期間のグループ直営店の既存店売上は前年同期比+6.4%でした。
- 既存店の売上客数が、12ヶ月連続で客数前年比を超え続けております。
- 今期出店の新店が総じて計画に対して実績がプラスとなりました。(5月全店単月黒字化達成)

【リユース事業（キッズ・婦人服事業及びその他事業内のリユース事業）】

- 当第1四半期累計期間に、リユース事業10店舗出店しました。(中古劇場としては2館出店)
- 当第1四半期累計期間のリユース事業全体の既存店売上は前年同期比+7.5%でした。
- リユース事業は、閑散期でありながらも利益計画を上回り、繁忙期である第3四半期に向けて順調に売上を伸ばしております。

【TSUTAYA事業】

- 当第1四半期累計期間に、1店舗出店しました。
- 当第1四半期累計期間のグループ直営店の既存店売上は前年同期比△9.6%でした。
- TSUTAYA店舗での、CD、DVD等の販売の低迷が続き、売上は計画に対して△2.5%と若干未達でしたが、規模のメリットによるボリュームディスカウント効果や、該当子会社本部費用のコスト削減などにより、利益は計画を上回りました。

連結対象店舗 出店の状況

(参考)BOOKOFF加盟店店舗出店の状況

	出店	退店	純増数	今期出店計画 (内、上期計画)
合計	17	4	13	28(19)
BOOKOFF店舗	6	3	3	9(5)
リユース事業店舗	10	1	9	19(14)
(上記のうち、中古劇場)	(2)			
その他、TSUTAYA等	1	0	1	

出店	退店	純増数
6	5	1

第1四半期累計期間 実績

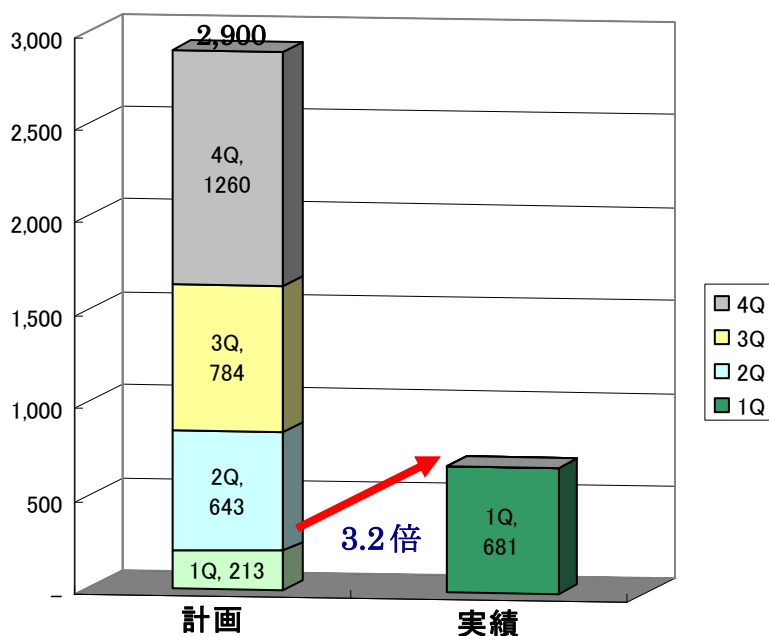
単位:百万円(単位未満四捨五入)

連結業績	2010/3期 第1四半期実績		前年同期 実績	第1四半期 計画
	前年同期比	計画比		
売上高	16,914	130.3%	12,980	16,750
営業利益	588	261.2%	225	178
経常利益	681	253.0%	269	213

単体実績	2010/3期 第1四半期実績		前年同期 実績	第1四半期 計画
	前年同期比	計画比		
売上高	10,736	112.4%	9,551	10,450
営業利益	602	154.0%	391	250
経常利益	610	151.9%	402	260

四半期経常利益 期間別比較

2010年3月期 経常利益計画と実績



(単位:百万円)

今後のトピックス

- ・ 8月に「**BOOKS TO THE PEOPLE**」プロジェクト（新しい手法の買取キャンペーン）開始
 - 「途上国に図書館を」という切り口で新規顧客へのアプローチを図る。
従来の当社顧客層である「若者・男性」から、女性層、中高年層への来店動機として当キャンペーンを開始。
また、「本で商売をしている会社だからこそ、本を使って社会貢献をしていく」という当社 CSR 活動の一環としても位置づける。

- ・ 9月に全国規模の販促キャンペーンを実施予定
 - 9月後半の大型連休に合わせ、売上を更に積み上げる
昨年11月に中古劇場店舗を中心に実施し、効果の出た販促キャンペーン手法を使い、全国規模でキャンペーンを展開。
新規顧客にも従来の中心顧客にも訴求できる販売促進を目指す。

- ・ 11月に新刊書店も含めた過去最大複合館を名古屋に出店予定
 - 新刊書店と BOOKOFF が並ぶ「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を名古屋に出店
名古屋で本を「たくさん」「安く」「昔の本も」捜して買おうと思う人のための、ファーストチョイスとなりうる店舗として企画。
洋服・子供用品・スポーツ用品など、様々な商品が揃った、回遊型大型店舗。

- ・ 11月に都市型大型店を池袋に出店予定
 - 秋葉原駅前店、渋谷センター街店に続く都市型大型店を池袋に出店
メガターミナル駅である池袋に BOOKOFF 単独店舗を出店。
これまでの出店ノウハウを活かして、ロジスティクスセンターで商品供給をし、販売に特化した都市型店舗。

以上